リスクと保険特講Ⅰ

選択　　2単位

前川　　正

1. 授業の概要（ねらい）

企業を取り巻く環境は、ITをはじめとする技術の革新、市場のグローバル化などに伴い複雑化・多様化しており、それゆえ企業が管理対象とすべきリスクは拡大の一途をたどっている。加えて企業におけるリスク管理に対する消費者、投資家、従業員等のステークホルダーからの関心は高まっている。このような事業環境の変化やステークホルダーの関心を踏まえ、企業はより高度なリスク管理体制を構築・運用していくことが求められている。リスクおよびリスクマネジメントの定義とリスクマネジメントの時代に即した変遷を確認し、その課題と方向性について学習することが授業のねらいとなります。

2. 授業の到達目標

①リスクやリスクマネジメントの定義を理解することができます。
②リスクマネジメントの基本知識を修得することができます。
③全社的リスクマネジメント(ERM)の基本的な考え方を説明することができるようになります。
④ISO31000リスクマネジメントフレームワークを説明することができるようになります。
⑤事業継続計画(BCP)の基本を理解することができます。
⑥危機管理態勢の考え方を理解することができます。

3. 成績評価の方法および基準

①課題レポート（70%)と課題に対するプレゼンテーション(30%)の実施を通して総合的に判断します。課題については授業中に提示します。
②課題レポートとは別に、複数回行うレポートの取組状況を勘案します。
③毎回の確認テストの取組状況を勘案します。

4. 教科書・参考文献

参考文献
小林誠[著]　『初心者のためのリスクマネジメントQ&A100』　日刊工業新聞社
MS&ADインターリスク総研[編著]　『リスクマネジメント要覧　理論と実例』　経済法令研究会

5. 準備学修の内容

当日の講義は前回講義の各自の復習をもとに進めますので次のような準備学修課題を課します。
①講義で使用した資料は講義の翌日にはLMSにアップするので、復習を兼ねて資料を熟読してください。
②当日の講義内容の確認テストをLMSの課題提出機能を活用して次回の講義までに提出してもらいます。
③講義内容に関連する文献・資料等（各回講義の中で都度参考文献は紹介）の自主学習に取組んでください。
④レポートの作成を複数回行います。その準備をしてください。
⑤課題レポートと課題に対するプレゼンテーション実施の準備をしてください。

6. その他履修上の注意事項

①欠席及び公欠の扱いについては原則大学の規定にフォローします。
②他の受講生の迷惑にならないように最低限の授業におけるマナーは厳守してください。
③受講に対してとくに対応が必要な場合（病気・ケガ・障害）は遠慮なく申し出てください。
④授業をよりよくしていく上での意見・感想・コメントも遠慮なく連絡ください。

7. 授業内容

【第1回】　オリエンテーション―授業の進め方・成績評価の方法および基準・準備学修の内容等の概要説明（オンライン授業：LMS）
【第2回】　旧来のリスクマネジメントの概要(1)　リスクマネジメントという言葉
【第3回】　旧来のリスクマネジメントの概要(2)　リスクマネジメントの発展とプロセス
【第4回】　現代のリスクマネジメントの概要(1)　リスクマネジメントシステム構築のための指針
【第5回】　現代のリスクマネジメントの概要(2)　全社的リスクマネジメント（ERM）：COSO1
【第6回】　現代のリスクマネジメントの概要(3)　全社的リスクマネジメント（ERM）：COSO2
【第7回】　現代のリスクマネジメントの概要(4)　リスクマネジメントの国際標準化
【第8回】　リスクマネジメント・プロセス
【第9回】　ISO31000のリスクマネジメント・フレーム
【第10回】　内部統制とコンプライアンス
【第11回】　事業継続マネジメント(1)　歴史と背景・BCMの基本的な考え方
【第12回】　事業継続マネジメント(2)　企業のBCMへの対応状況・BCMとリスクマネジメント
【第13回】　危機管理対策　危機管理概論
【第14回】　課題の提示および説明（オンライン授業：LMS）
【第15回】　課題レポートの提出および課題に対するプレゼンテーションの実施